

平成24年度 第23回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成25年2月9日(土)

【男子】2回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第5試合

土浦日本大学 (茨城県)	55	$\left. \begin{array}{l} 16 - 25 \\ 12 - 15 \\ 12 - 22 \\ 15 - 30 \end{array} \right\} 92$	京北 (東京都)

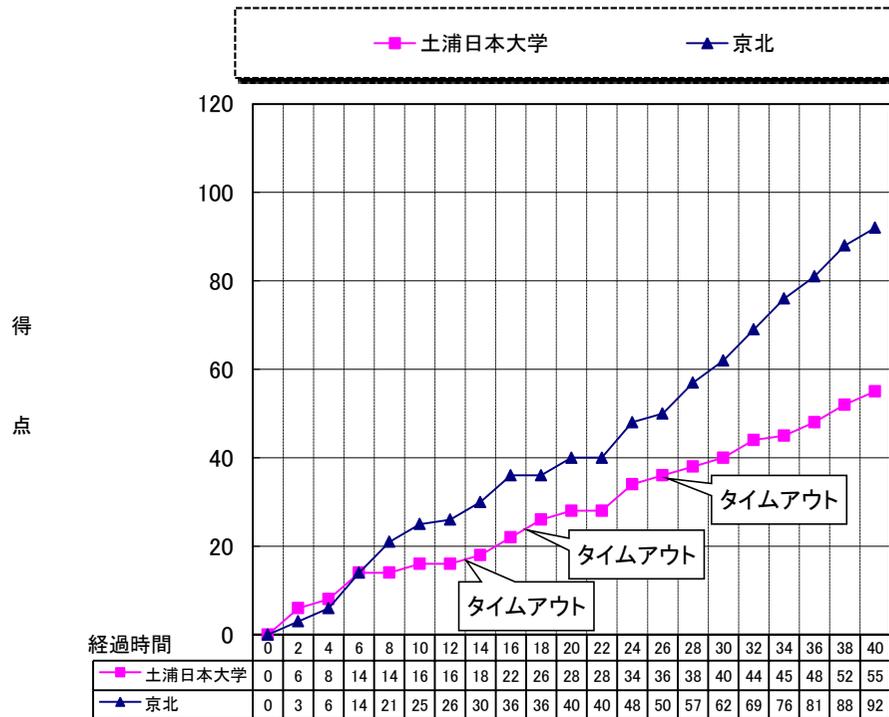
土浦日本大学

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	山崎 拓	13	1	7	4	9	2	5	3	1	3	4	2	1	0	3
5*	上山 敦士	11	0	0	4	7	3	4	5	2	7	9	2	1	0	3
6*	吉田 恭平	4	0	0	2	12	0	0	4	3	1	4	1	2	1	2
7*	天利 和輝	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	1
8	霜多 龍一	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
9	佐加井圭市	6	0	1	3	10	0	0	3	3	4	7	0	2	0	4
10	長谷川 智裕	3	0	0	1	3	1	2	1	2	1	3	0	0	1	1
11	田中 奨悟															
12	岡野 智滉															
13	野口 勇樹															
14	齋藤 達也															
15*	本村 亮輔	18	0	1	8	18	2	4	1	2	7	9	0	0	0	3
16	田村 徹															
17	高橋 公太郎															
18	木村 洋介															
HC	佐藤 豊/TEAM									2	1	3				0
チーム		55	1	9	22	60	8	15	21	15	24	39	6	6	2	19
*スターティングメンバー	確率		11.1%		36.7%		53.3%									

京北

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	石原 卓	11	0	5	5	8	1	2	3	1	3	4	7	1	1	5
5*	新川 敬大	17	2	5	3	8	5	7	3	1	13	14	0	1	1	1
6*	川久保 駿	16	0	1	7	9	2	4	3	4	3	7	2	0	2	3
7*	吉川 治輝	16	0	2	7	12	2	3	1	0	6	6	1	4	0	1
8	吉田 亘	6	1	3	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1
9	平岩 アンソニー・コリン	10	1	3	3	4	1	4	1	2	4	6	0	1	2	2
10*	浅見 陸人	8	0	0	3	4	2	2	1	2	0	2	2	2	0	1
11	岡田 大貴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12	福本 哲也	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
13	木村 詢	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
14	浅香 陽光	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0
15	盛満 拓郎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
16	小森 敬輔	4	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
17	岡部 直貴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	山内 大樹															
HC	田渡 優/TEAM									0	4	4				0
チーム		92	4	19	33	52	14	24	15	10	37	47	14	11	6	16
*スターティングメンバー	確率		21.1%		63.5%		58.3%									

2分毎による得点の推移



戦評

1Q序盤は土日大が連続シュートを決める。しかし、京北のハーフコートマンツーマンが機能し始めると、④石原⑦吉川のドライブからのシュートも決まりだし、一気に逆転する。土日大も⑤上山の力強いゴール下などで応戦するが、土日大16-25京北で1Qは終了する。2Qはお互いにシュートが入らない我慢の時間帯が続く。均衡を破ったのは京北。速攻や④⑦の個人技を中心に得点を積み重ねる。対する土日大も⑩佐加井のジャンプシュートなどが決まり粘りをみせるが、その後も京北は立て続けにファストブレイクから加点する。京北が主導権を握りながら少しずつ差を広げ、土日大28-40京北と12ポイントで前半を折り返す。

3Qディフェンスをお互い頑張り、容易な得点を許さない。何とか点差を詰めた土日大はタイムアウトを取ってディフェンスから流れを変えようとするが、相手のドライブをどうしても止めることができない。京北⑤新川のバスケットカウントや3Pが決まり、点差は徐々に広がりはじめ。土日大40-62京北で第3Q終了。4Q京北の速攻やドライブからの合わせなどが立て続けに決まる。土日大も④山崎のバスケットカウントなどで食らいつく。しかし、京北は5人全員がコート縦横無尽に駆けめぐり、攻撃の手を全く緩めない。最後まで走るバスケットを続けた京北が土日大を破り、準決勝進出を決めた。

主審	小澤勤	第1副審	長谷川裕	第2副審	—
----	-----	------	------	------	---

記入者	澤田昌宏
-----	------